

編集後記

「女子学研究 11」をお届けします。

2020年4月の例会を中止にしてから、まだ研究会は開催できていません。多くの学会や研究会はZoom等の使用によりオンラインで実施するのが当たり前になったので、女子学研究会でもやればいいのではないかとわれそうですが、約1時間の発表と約1時間の質疑応答を2本行い、その後の懇親会でさらに話を続けるというものが研究会の方法は、Zoomにしてしまったら、ずいぶん雰囲気が変わってしまうと思ったからです。

Zoomによる学会・研究会にいくつか参加して思うのは、発表も質疑も、それなりに行えるのは確かであっても、話が脱線したところでふわっと出た話から新しい視点が生まれる…といった「場の力」といったものが発揮されることは稀だということです。学会・研究会の運営委員会や編集委員会といった、よく知った者同士の限られた人数による、現実的なテーマでの討議ならば、交通費もかからず、これまでもZoomを使っていればよかったのと思うこともありますが、さまざまな分野を専攻するさまざまな立場の人が集まり、さまざまなテーマが扱われる女子学研究会としては、あまりマッチしたものではないように思えるのです。もちろん、この先、何年もこの状態のままというわけにはいきませんが…

そんな中、11冊目からは表紙のデザインも変えて華々しく新規スタート！ のつもりが、やはりコロナ禍中での研究や執筆も難しかったのか、投稿も少なく、かなりページ数も少ないものになってしまいました。確かに女子の力が見えにくくなった2020年度ではありましたが、女子学のテーマはさらに増え、深化したようにも思えます。今号でもコロナ禍における女子の問題についての言及がありましたが、次号では、さらに多くの論考が寄せられることを期待したいと思います。

女子学研究会は2ヶ月に1度ほどの割合で開催しています。参加者が次回の期日と発表者を決める、ということずっと続いているため、いつ、どのようなテーマで例会が行われるのか、分かりにくいかもしれませんが、女子学研究会のHP (<http://joshigaku.net/>) 等で告知しておりますので、ご参照ください。

研究会への参加は無料。会費も原則として無料（ただし本誌の発行を継続するため、任意で維持費をいただいています）。投稿も無料です。学歴も学閥も、性別も国籍も年齢も不問ですので、お気軽にご参加ください。詳しくは下記アドレスまで。

女子学研究 vol. 11

発行日 2021年5月10日
編集・発行 女子学研究会
連絡先 658-0001
神戸市東灘区森北町6丁目2番23号
甲南女子大学
研究代表者 信時哲郎
Tel & fax 078-413-3065
e-mail : nobutoki@konan-wu.ac.jp
印刷 ちよ古つ都製本工房（京都）